

チームでバトル！
：××外国語大学を世界へ！！
(情報リテラシーの実践を目指して)

4班

背景

- 「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について(審議まとめ)」(平成25年8月)
- 「平成24年8月の中央教育審議会の答申においては、**学士課程教育の能動的学修(アクティブ・ラーニング)への転換が必要**とされ...」

課題

- リテラシー教育をアクティブラーニングに発展させる

図書館ができること

- 従来の情報リテラシー教育のノウハウがある
- アクティブラーニングの場所と方法を提供できる
- 調査ツールを提供できる
- 学生と他部署をつなぐハブになる

実践

- 1回生対象必修授業「リテラシー教育」
- 図書館が11月に3コマ担当
- アクティブラーニングを実践して、最終成果物として**英語によるプレゼン**を行わせる
- 優秀なプレゼンは秋のオープンキャンパスでも行わせ
広報を通して学外へも発信する

学生にとっての効果

- 情報リテラシー能力向上
- プレゼン能力向上
- 英語によるライティング能力向上
- 大学への理解の深まり

大学にとっての効果

- 成果物発信による大学のイメージアップ

- 教職協働の実現

「事務職員が教員と対等な立場での「教職協働」によって大学運営に参画する...」
(「大学運営の一層の改善・充実のための方策について」(中教審 平成27年8月))

- 高校生への宣伝効果

(オープンキャンパスでプレゼンを実施)

- 図書館の利用者増

想定する大学

- × × 外国語大学
- 1回生が150人
- 大学の理念：グローバル時代を生き抜く学生を育てる

大学を世界へPR!!

1コマ目

- ・ 図書館を使った検索方法・調べ方
- ・ チームでバトル！の説明(ビブリオバトルのイメージ)

2コマ目

- ・ チームでバトル！ルールなどを詳しく説明
- ・ 「大学を世界へPR!!」をテーマに図書館で調べ物

3コマ目

- ・ 各チームの英語によるプレゼンバトル！！
- ・ 採点にはクリッカー

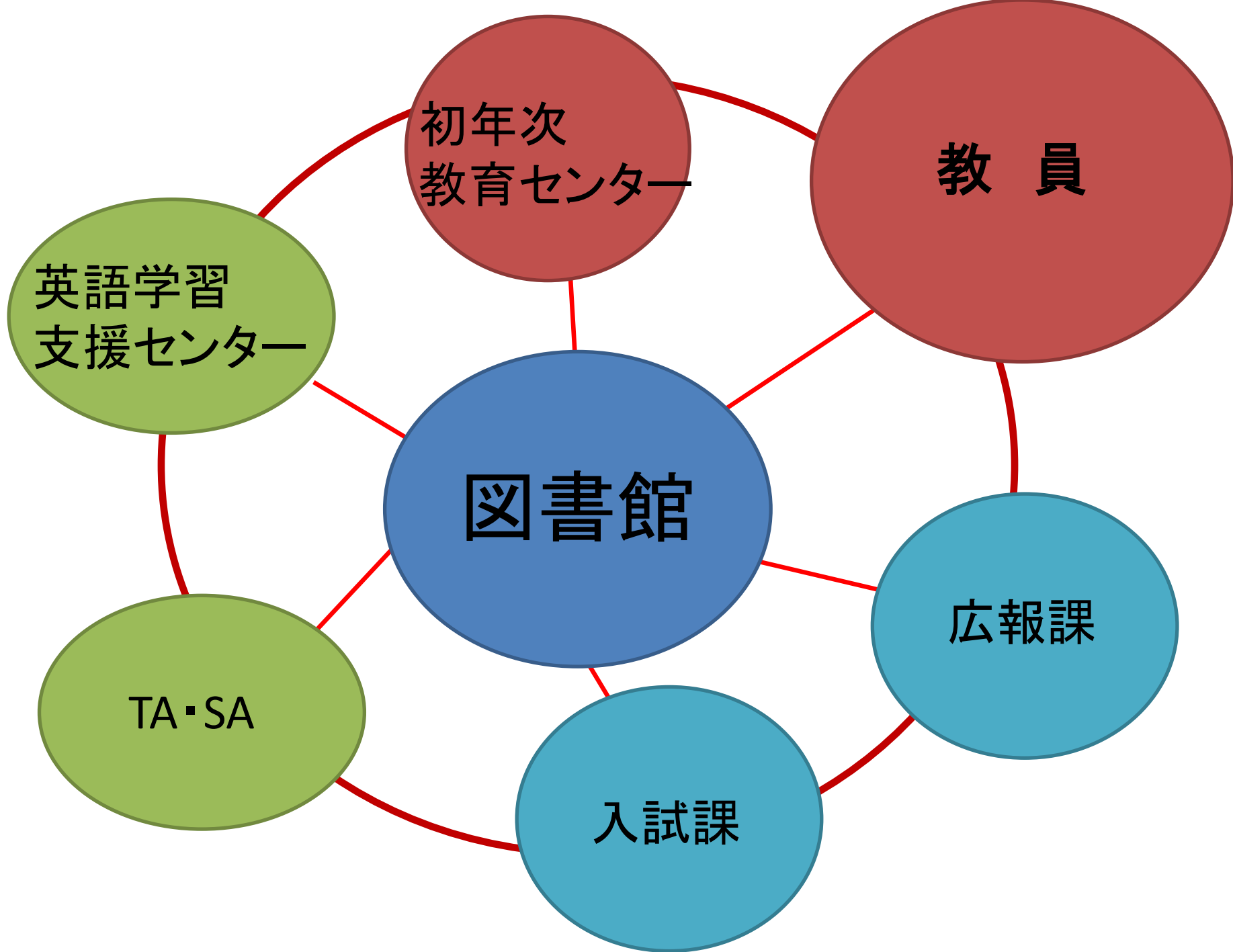
秋のOC

- ・ 優勝チームによる最終決戦

授業課題

- ××外国語大学に所属する先生の魅力について5分間のプレゼンテーションを作成する
 - 英語
 - 図書館の検索ツール等を使って先生の研究内容などを調べること
- 学生は先生のことをより理解できるようになる。今後のゼミ選択の見通しを持つことができる。

図書館がどのように授業に関わるか



初年次
教育センター

教員

英語学習
支援センター

図書館

広報課

TA・SA

入試課

授業に関する連携先

- 初年次教育センター
（1回生の授業を管轄する部署）
 - 担当教員
- 授業枠を確保、企画・打ち合わせ、
日程調整

学生サポートに関わる連携先

- TA・SA(ラーニングコモンズのスタッフ)
- 英語についてアドバイスできる先生
- 英語学習支援センター(ライティングセンター)

→ 英語のフォロー

授業時間中・時間外の相談相手

イベントを広めるための連携先

- 広報課

- プレゼン内容へのフォロー
優秀なPRはホームページへ

- 入試課

- オープンキャンパスでイベント実施
企画・日程調整

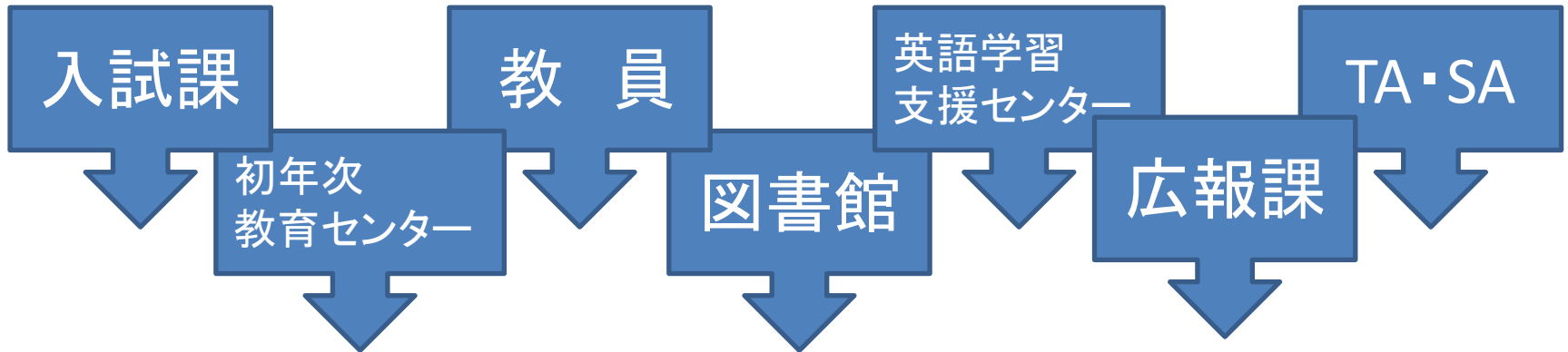
障害・ボトルネックと解決方法

- 関わる部署が多いので内容理解が不十分になる？
→情報の共有体制をしっかりと作る
(共有ファイル、関係者が密に連絡をとる)
- 各部署の業務が増える？
→学生による大学PRは大学全体にとってもメリットになるはず
- 学生・教員のニーズを本当に満たせる？
→アンケート、振り返りをしっかり行って翌年の授業に反映させて改善を図る

障害・ボトルネックと解決方法(追加)

- ・英語の場合学生の理解、学習に差が出る？
→アクティブラーニングの実践を徹底する。チームの人数を少なくして1人ずつの役割をはっきりさせる。
- ・「自分の大学を好きになる」(テーマ設定の意味)
→入学したばかりの学生に大学への理解を深めてもらう
- ・広報先はどこ？
→大学や図書館のホームページ、その他有効な広報先を広報課に相談する

ロードマップ



● 企画

● 打ち合わせ（繰り返し行う）

● 日程の調整

● 広報活動（繰り返し行う）

- ・ 各部署や研究室、全学部の掲示板に詳細を掲示
- ・ チラシの配布
- ・ それぞれの HP への掲載や SNS での発信
- ・ 教員が授業内に口頭で宣伝
- ・ 職員が直接教室へ出向き、授業終了時にチラシを配布し声かけを実施
- ・ 館内放送や学生広報委員会による学内放送

● 内容の共有



イベント開催！！

図書館の役割

- 各部署のハブ
- 利用者との関係を深める
- 必要な教育・学習支援を提供する
- ビブリオバトルのノウハウを活用できる
- 場所の提供（ラーニングコモンズ）
- 調査ツールの提供